

事務事業名	学校給食センター運営事業		所属部	教育委員会	所属課	教育総務課	
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	教育総務・給食グループ	課長名	安部 栄司
	施策名	〈26〉学校教育の充実		担当者名	香川 みなみ	電話番号	0854-40-1071 (内線) 2271
	目的・対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。			
	基本事業	〈079〉学校の施設・設備の充実		予算科目	0:150:0:3 3:0:2:5	大事業名	02学校給食総務管理事業 03学校給食管理事業
目的・対象	児童・生徒	意図	学習しやすい環境で学ぶ。			中事業名	各学校給食管理事業 (大東・加茂・中央)

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
雲南市内小中学校児童生徒、幼稚園・こども園児、教職員、出雲養護学校雲南分教室生徒教職員	安全安心でおいしく魅力ある学校給食を提供することにより、成長期にある児童生徒、園児の心身の健全な育成と食教育につながる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	学校給食法(昭和29年法律第160号)第5条の2の規定に基づき、市内小中学校及び幼稚園等の学校給食を適正かつ円滑に実施するための事業。 (共同調理場の名称)雲南市大東・加茂・中央学校給食センター (業務内容)①学校給食の献立作成 ②学校給食用物資の購入③学校給食の調理④学校給食の運搬 ⑤その他学校給食運営に必要な業務 (事業費内訳) 報酬・旅費・需用費・役務費・委託料・使用料及び賃借料・備品購入費
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) 学校給食を直営で実施する。市が実施主体として、市内児童生徒、園児、教職員3,399人を対象に学校給食を提供する。	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 平成23年度から大東・木次・三刀屋の各学校給食センター、平成26年度から加茂・掛合・吉田の各学校給食センターにおいて調理業務の委託を行っている。また令和元年度より学校給食センターを統合し、より効率的な運営をはかっている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 異物混入、苦情件数	件	26	22	13	0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
事業費	288,826千円	財源内訳	国庫支出金	千円			773	
(内訳)	賄材料費 168,493千円 光熱水費 45,580千円 その他 74,753千円		県支出金	千円	612	683	658	1,761
			地方債	千円				
			その他	千円	150,576	157,550	153,060	169,157
			一般財源	千円	127,339	126,417	134,335	128,190
			事業費計	千円	278,527	284,650	288,826	299,108

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	市が実施主体として、市内児童生徒、園児等に市内3箇所の学校給食センターから学校給食の提供を行った。学校給食で使用する野菜は、安全・安心で生産者の顔の見える地元野菜を優先して使用し、平成30年度実績で地元野菜使用割合は37.2%、令和元年度は45.4%、令和2年度は47.2%、令和3年度は54.0%となった。また、安全安心な給食を提供するため、衛生管理の徹底に努めることができた。
② 事業実施するうえでの課題	物価の高騰やコロナウイルス感染症等の影響で、賄材料費が圧迫されている現状がある。給食の栄養価や質を保っていくためにも、給食費の値上げ等検討する必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	今後も安全安心な給食提供に努める一方、学校給食センターの統合・整備により運営コストの削減や様々なニーズに応える体制づくりを図っていく。